

ちゅっぴーろーど CHUPPY ROAD

Route Length
ルート全長 **3km**



17の地域づくり協議会がそれぞれデザインした路上サインも埋め込んであるから、楽しみながら歩いてね♪♪

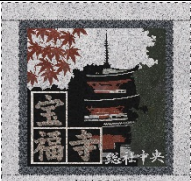
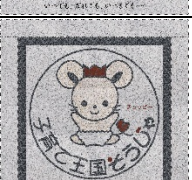


【地域づくり協議会とは】

人口減少、少子高齢化の進展等により、希薄化しつつある地域の連帯意識を高め、地域の個性を生かした住民同士の支えあいによる地域づくりを目指すために作られた団体です。現在、総社市には17の団体があります。

- ・②総社中央小学校区地域づくり協議会
- ・③新本小学校区地域づくり協議会
- ・⑤神在コミュニティ協議会
- ・⑥総社北小学校区地域づくり協議会
- ・⑧三須地区地域づくり協議会
- ・⑨総社小学校区地域づくり協議会
- ・⑪清音地域づくり協議会
- ・⑫山手地域づくり協議会
- ・⑭阿曾小学校区地域づくり協議会
- ・⑮山田地域コミュニティ協議会
- ・⑰維新小学校区地域づくり協議会
- ・⑱昭和小学校区地域づくり協議会
- ・㉑服部地区地域づくり協議会
- ・㉒久代地区地域づくり協議会
- ・㉓常盤小学校区地域づくり協議会
- ・㉔秦地区自治会連合会
- ・㉕池田小学校区地域づくり協議会

ちゅっぴーろーど 石盤デザイン

	⑨ 総社小学校区地域づくり協議会【まちかど郷土館（旧総社警察署）】 総社小学校区内にあり、市内に現存する明治洋風建築です。洋風建築の採用、当時としては斬新な試みでありました。私たち協議会も従前の固定観念にこだわることなく、新たな発想を持ち魅力ある地域づくりに寄与していきたいです。		⑤ 神在コミュニティ協議会【神在小学校校章】 神在小学校の「神」の旧字体「神」の周りをチシャの木の葉が取り囲んでいます。「チシャの木」は校歌の中でも歌われており、神在小学校のシンボルの木になっています。チシャの木の下には学業を表すペンが描かれています。
	② 総社中央小学校区地域づくり協議会【宝福寺三重塔】 雪舟が幼少時代に修行したとされることでも有名な宝福寺。その宝福寺の神秘的な森の中に悠然とそびえる国の重要文化財に指定される三重塔。樹々の奥深い緑に映える塔の赤と紅葉の時期に訪れる人々の心を和ませるもみじの赤を基調としてデザインしました。		⑪ 久代地区地域づくり協議会【正木山ウォーク自然と歴史に触れる】 久代地区地域づくり協議会では、三世代交流の事業などが行われています。その中に「正木山の自然と歴史を守る会」として、久代地区にそびえる正木山の登山を通して、交流の輪を広げながら、自然を守り、歴史を学ぶ活動を進め、登山道の清掃や草刈なども行っています。
	⑥ 総社北小学校区地域づくり協議会【「ヒイゴ池」のハッチョウトンボとサギ草】 総社北小学校で「アルミ缶」の収集を行い「ヒイゴ池」の保護、保存に協力するなど、小学校全体で「ヒイゴ池」を守っています。「ヒイゴ池」の代表生物「ハッチョウトンボ」と夏を彩る「サギ草」で「ヒイゴ池湿地帯」をアピールしています。		⑮ 山田地域コミュニティ協議会【鬼ノ身城跡】 備中兵乱木に豊臣方に組したため、毛利方に攻められ城兵を助けるために、若干二十歳の若さで切腹した城主の遺徳を偲んで、地区民が城跡の草刈や新年のご来光行事を行っています。
	⑬ 常盤小学校区地域づくり協議会【ときわ（防災）公園】 常盤小学校区の誇れる施設のひとつは「ときわ公園」です。休日は多くの子どもたちが元気に動き回っています。また、この公園は、防災機能を備えており、大切な公園です。		③ 新本小学校区地域づくり協議会【義民と赤米の里】 新本には先人が守り伝えてきたものが二つあります。その一つが義民であり、もう一つが赤米であります。江戸表の藩主に直訴に向かう四人集と実った赤米を描いています。
	⑧ 三須地区地域づくり協議会【備中国分寺】 吉備路風土記の丘県立自然公園、私たちににとって最もかけがえのないすぐれた自然の風景画であり、特に中心的な存在である備中国分寺をいつまでも後世に残すため、大切に保存していくという地域住民の願いを込めたものです。		⑮ 昭和小学校区地域づくり協議会【大正14年創業当時の姿をとどめた美袋駅舎】 大正14年5月開業以来、多くの住民に利用されてきました。平成20年3月には登録有形文化財の指定を受けました。地域を代表する貴重な建築物です。
	⑩ 服部地区地域づくり協議会【服部の今と昔】 タイトルの「服部の今と昔」は、郷土史「服部の今と昔」から引用しました。小学生からお年寄りまで、みんなにわかる郷土史で、その表紙を飾る「服部駅」「県立大学」周辺と昭和62年4月に岡山県重要文化財に指定された「柏寺廃寺跡」、古の国庁跡である「備中国府跡」をデザインしました。		⑮ 維新小学校区地域づくり協議会【維新学区の四季】 維新学区の玄関である昭和13年架橋の「カレンチヒバートラス」を用いた「水内橋（みのちばし）」と水内河原の「春の桜」「夏の納涼花火」、樹齢約500年の「滝山のかごの木」と維新学区が一目で理解できるものとし、小学校6年生の卒業記念として作成しました。
	⑭ 阿曾小学校区地域づくり協議会【鬼ノ城】 鬼ノ城のふもと、砂川公園でキャンプをしたり、楽しく遊んだりしている子どもたちを描きました。		⑫ 山手地域づくり協議会【吉備路の夏】 ひまわりは、未来を担う子どもたちの明るさと元気、そして健やかに成長する姿と山手地区の活気を表し、五重塔は、吉備路のシンボルである備中国分寺の景色がすばらしい山手地区の特徴を表しています。満開のひまわりと国分寺五重塔は、吉備路の夏の風景となっており山手地区の原風景ともなっています。
	⑯ 池田小学校区地域づくり協議会【ごうけいの風景】 池田のシンボル「ごうけい」の夏と秋の景色をデザインしました。天柱の岩の上にいるのは「ごうけい仙人」です。		⑪ 清音地域づくり協議会【いつでも、だれでも、いつまでも……】 清音のシンボルとして、きよね夢でらすがあります。いつでも集え小さな子どもからお年寄りまで誰でも集い、いつまでも集える。そして、みんながいきいきと輝ける場所です。毎日大勢の人が利用しています。下の花は、旧清音村の花「つつじ」です。
	⑭ 秦地区自治会連合会【秦原寺幻想】 秦地区の誇りである中四国最古の秦原寺の往時の偉容を偲んで表現しています。洛中洛外図などの金雲のアイデアを借用。創建は飛鳥時代で7つの伽藍があったとされています。伽藍配置は奈良の四天王寺方式であることが平成28年5月に判明し、平成29年3月、備前焼の伽藍配置模型1/150を作成し、サントピア岡山総社ロビーなどに展示しています。		① チュッピー【子育て王国そうじゃ】 子どもたちみんなの幸せのために「子育て王国そうじゃ」のイメージキャラクターとして誕生したのがチュッピーです。総社市で年少期を過ごした画聖雪舟が涙で描いた「ねずみ」の絵の逸話からチュッピーは生まれました。ねずみの赤ちゃんをキャラクターにしており、頭に王冠をかぶせることで、子育て王国のイメージを、そして、おむつから出ている尻尾のハートは、愛情あふれる子育てのまちをイメージしています。

(石盤位置 協議会等名 テーマ)